

交通関連企業景気動向調査（平成13年9月1日時点）結果

～景況感、大幅に下降～

1. 調査の概要

(1) 目的

交通関連企業における景況感、経営動向を把握する。

(2) 対象業種・事業者数

- ・貨物、旅客、その他全計16業種
- ・調査対象410社、有効回答337社（有効回答率82.2%）

(3) 調査時点

平成13年9月1日現在

2. 調査結果の要旨

(1) 景況感〔最近の景況感DI = -79.9、13年度下半期の景況感見通しDI = -65.5〕

- ・最近の景況感DIは、平成10年9月調査以降マイナスながらも上昇傾向にあったが、平成13年3月調査（以下前回調査）で2年半ぶりに下降に転じ、今回の調査ではさらに大幅に下降（DI = -59.6 → -79.9）。
- ・前回調査までは、航空運送業、外航海運、旅行業のDIがプラスとなっていたが、今回調査では全ての業種においてDIがマイナスになった。
- ・13年度下半期の景況感見通しは68.8%の事業者が「悪くなる」とみており（「良くなる」3.3%）、DIも前回調査に比べて悪くなっている。（DI = -17.6 → -65.5）

(2) 売上高〔13年度上半期の12年度対比売上高DI = -44.7、13年度下半期の売上見通しDI = -43.2〕

- ・13年度上半期の売上高は60.1%の事業者が12年度に対し「悪化する」と回答。DIも前回調査比べ大幅に下降（-22.4 → -44.7）。
- ・13年度下半期の売上高見通しは、13年度上半期に対し56.8%の事業者が「悪化する」と回答。DIも前回調査に比べ大幅に下降（-17.3 → -43.2）。

(3) 雇用状況〔人手不足感DI = -0.3〕

- ・平成12年9月調査より人手過剰から人手不足へと移行していたが、今回調査で再び人手過剰となった。（DI = 4.9 → -0.3）

（注）DI = 「良い（改善）、人手不足、増加、楽、ゆるい」と回答した事業者の割合

- 「悪い（悪化）、人手過剰、減少、苦しい、厳しい」と回答した事業者の割合

2. 調査結果の要旨

(1) 景況感

調査時点(平成13年9月1日)の景況感DI = -79.9

交通関連業界の景況感は、DIでみると、前回調査(平成13年3月1日時点、以下同じ)に続き大幅に下降している(DI = -59.6 → -79.9)。また、有効回答事業者(以下「事業者」という。)数でみると、「良い」と感じている事業者は3.3%に対し、83.2%の事業者が「悪い」と感じており、「悪い」とみる事業者の方が圧倒的に多い。

前回調査まで、航空運送業、外航海運、旅行業がDIでプラスを保っていたが、今回調査では全ての業種においてマイナスになった。さらに、乗合バス、自動車整備は全事業者が「悪い」と回答しておりDI値が-100になるとともに、フェリー、ハイヤー・タクシーが-90を下回る結果となっている。

最近の景況感

部門・業種		良	悪	DI	前回調査との差	前回(13.3)DI	前年(12.9)DI
全 体		3.3	83.2	-79.9	-20.3	-59.6	-47.1
	貨物部門	2.7	81.9	-79.2	-23.5	-55.7	-36.9
	旅客部門	3.2	83.5	-80.4	-18.3	-62.1	-54.2
	その他	7.7	88.5	-80.8	-18.3	-62.5	-80.8
貨物	外航海運(20)	5.0	70.0	-65.0	-84.0	19.0	11.1
	内航海運(22)	0.0	81.8	-81.8	-26.3	-55.6	-22.6
	フェリー(18)	0.0	94.4	-94.4	-20.5	-73.9	-77.3
	倉庫(31)	0.0	71.0	-71.0	-4.3	-66.7	-44.7
	港湾運送(26)	3.8	88.5	-84.6	-13.2	-71.4	-44.8
	トラック(32)	6.3	87.5	-81.3	-15.6	-65.6	-45.0
旅客	旅客船(19)	0.0	73.7	-73.7	16.3	-90.0	-75.0
	JR(6)	0.0	50.0	-50.0	-7.1	-42.9	-28.6
	民鉄旅客(27)	0.0	70.4	-70.4	-9.7	-60.7	-65.5
	乗合バス(34)	0.0	100.0	-100.0	0.0	-100.0	-85.7
	ハイヤー・タクシー(33)	0.0	97.0	-97.0	-14.1	-82.9	-77.8
	航空運送業(15)	13.3	80.0	-66.7	-116.7	50.0	57.1
	登録ホテル(24)	12.5	75.0	-62.5	-7.7	-54.8	-55.6
旅行業(2)	0.0	50.0	-50.0	-53.7	3.7	29.2	
その他	造船(26)	7.7	88.5	-80.8	-10.4	-70.4	-76.9
	自動車整備(2)	0.0	100.0	-100.0	-46.2	-53.8	-37.5

(注) 1.()内は回答事業者数

2. 前回(13.3)DIは、13年3月調査時点での「最近の景況感」
前年(12.9)DIは、12年9月調査時点での「最近の景況感」

13年度下半期の景況感見通しDI = -65.5

13年度下半期の13年度上半期に対する景況感見通しは、前回調査からDI値で47.9ポイント下回り、-65.5になった。

また、事業者数で見ると「良くなる」と感じている事業者は3.3%しかなく、68.8%の事業者が「悪くなる」と感じている。

業種別にみても、全ての業種においてDIでマイナスとなっている。

13年度下半期の景況感見通し

部門・業種		良くなる	悪くなる	DI	前回調査との差	前回(13.3)DI	前年(12.9)DI
全 体		3.3	68.8	-65.5	-47.9	-17.6	-25.9
貨 物 部 門		4.0	68.5	-64.4	-51.7	-12.7	-28.7
旅 客 部 門		3.2	70.9	-67.7	-48.9	-18.8	-19.2
そ の 他		0.0	57.7	-57.7	-28.9	-28.8	-39.1
貨 物	外航海運(20)	15.0	60.0	-45.0	-75.4	30.4	-19.0
	内航海運(22)	0.0	63.6	-63.6	-46.9	-16.7	-40.7
	フェリー(18)	0.0	72.2	-72.2	-24.8	-47.4	-39.1
	倉庫(31)	0.0	74.2	-74.2	-55.4	-18.8	-30.6
	港湾運送(26)	3.8	65.4	-61.5	-39.3	-22.2	-39.3
	トラック(32)	6.3	71.9	-65.6	-59.9	-5.7	-6.3
旅 客	旅客船(19)	0.0	68.4	-68.4	-36.8	-31.6	-35.0
	JR(6)	0.0	33.3	-33.3	-19.0	-14.3	14.3
	民鉄旅客(27)	0.0	51.9	-51.9	-21.1	-30.8	-29.6
	乗合バス(34)	0.0	82.4	-82.4	-18.5	-63.9	-67.5
	ハイヤー・タクシー(33)	0.0	87.9	-87.9	-50.4	-37.5	-42.9
	航空運送業(15)	6.7	80.0	-73.3	-116.2	42.9	0.0
	登録ホテル(24)	16.7	58.3	-41.7	-47.6	5.9	19.4
	旅行業(2)	0.0	50.0	-50.0	-90.0	40.0	48.1
そ の 他	造船(26)	0.0	57.7	-57.7	-21.7	-36.0	-14.8
	自動車整備(2)	0.0	100.0	-100.0	-75.0	-25.0	-57.7

- (注) 1. 前回(13.3)DIは、13年3月調査時点での「13年度の景況感が12年度に対して改善(悪化)するのにかつての“見通し”の見方」
 2. 前年(12.9)DIは、12年9月調査時点での「12年度下半期の景況感が12年度上半期に対して改善(悪化)するのにかつての“見通し”の見方」

(2) 売上高

13年度上半期の前年度(12年度)対比売上高DI = -44.7

13年度上半期の前年度(12年度)に対する売上高は、前回調査からDI値で-22.4ポイント下回り、-44.7になった。

業種別に前回調査と比べると、外航海運、内航海運、港湾運送、トラック、航空運送業で、DIがプラスからマイナスになっている(DI=52.4 -30.0、25.9 -18.2、18.5 -53.8、6.3 -34.4、66.7 -13.3)。

また、事業者数でみると、ハイヤー・タクシーで全ての事業者、乗合バスで2.9%、港湾運送で7.7%の事業者しか13年度上半期の売上高が改善すると考えておらず、苦しい状況にある。

13年度上半期の売上高

部門・業種		改善	悪化	DI	前回調査との差	前回(13.3)DI	前年(12.9)DI
全体		15.3	60.1	-44.7	-22.4	-22.4	-19.0
	貨物部門	18.1	51.7	-33.6	-39.0	5.4	-1.1
	旅客部門	12.0	69.6	-57.6	-13.5	-44.1	-39.3
	その他	19.2	50.0	-30.8	-2.6	-28.1	-6.7
貨物	外航海運(20)	20.0	50.0	-30.0	-82.4	52.4	14.8
	内航海運(22)	31.8	50.0	-18.2	-44.1	25.9	25.8
	フェリー(18)	11.1	66.7	-55.6	-12.1	-43.5	-36.4
	倉庫(31)	12.9	29.0	-16.1	0.5	-16.7	-13.2
	港湾運送(26)	7.7	61.5	-53.8	-72.4	18.5	0.0
	トラック(32)	25.0	59.4	-34.4	-40.6	6.3	-2.5
旅客	旅客船(19)	10.5	57.9	-47.4	27.6	-75.0	-40.0
	JR(6)	16.7	33.3	-16.7	26.2	-42.9	-42.9
	民鉄旅客(27)	14.8	63.0	-48.1	-16.0	-32.1	-31.0
	乗合バス(34)	2.9	88.2	-85.3	-7.2	-78.0	-85.7
	ハイヤー・タクシー(33)	0.0	81.8	-81.8	1.0	-82.9	-66.7
	航空運送業(15)	33.3	46.7	-13.3	-80.0	66.7	71.4
	登録ホテル(24)	25.0	66.7	-41.7	-6.2	-35.5	-36.1
	旅行業(2)	50.0	50.0	0.0	-33.3	33.3	37.5
その他	造船(26)	19.2	50.0	-30.8	-4.8	-25.9	-3.8
	自動車整備(2)	50.0	50.0	0.0	38.5	-38.5	-16.7

- (注) 1. 前回(13.3)DIは、13年3月調査時点での「13年度売上高が12年度に対して改善(悪化)するかの見方」
 2. 前年(12.9)DIは、12年9月調査時点での「12年度上半期売上高が11年度に対して改善(悪化)するかの見方」

13年度下半期の13年度上半期対比売上高見通しDI = -43.2

13年度下半期の13年度上半期に対する売上高見通しについては、全ての業種において悪化すると見込んでいる。

事業者数でみても、JR、乗合バス、旅行業、自動車整備業においては、「改善する」と見込む事業者は一社もない。

13年度

部門・業種		改善	悪化	DI	前回調査との差	前回(13.3)DI	前年(12.9)DI
全体		13.5	56.8	-43.2	-25.9	-17.3	-16.1
	貨物部門	15.4	53.7	-38.3	-21.9	-16.4	-8.6
	旅客部門	9.5	62.7	-53.2	-35.2	-18.0	-23.6
	その他	26.9	38.5	-11.5	5.8	-17.3	-12.7
貨物	外航海運(20)	20.0	35.0	-15.0	-32.4	17.4	-28.6
	内航海運(22)	22.7	50.0	-27.3	9.4	-36.7	-11.5
	フェリー(18)	16.7	61.1	-44.4	-12.8	-31.6	-18.2
	倉庫(31)	3.2	64.5	-61.3	-36.3	-25.0	-11.4
	港湾運送(26)	11.5	53.8	-42.3	-5.3	-37.0	-7.1
	トラック(32)	21.9	53.1	-31.3	-43.1	11.8	16.1
旅客	旅客船(19)	10.5	63.2	-52.6	-26.3	-26.3	-25.0
	JR(6)	0.0	50.0	-50.0	-7.1	-42.9	0.0
	民鉄旅客(27)	7.4	59.3	-51.9	-22.7	-29.2	-48.0
	乗合バス(34)	0.0	73.5	-73.5	-6.8	-66.7	-80.0
	ハイヤー・タクシー(33)	3.0	72.7	-69.7	-16.6	-53.1	-45.7
	航空運送業(15)	26.7	53.3	-26.7	-83.8	57.1	33.3
	登録ホテル(24)	25.0	45.8	-20.8	-51.1	30.3	25.8
	旅行業(2)	0.0	50.0	-50.0	-86.0	36.0	37.0
その他	造船(26)	26.9	38.5	-11.5	16.5	-28.0	-11.5
	自動車整備(2)	0.0	50.0	-50.0	-45.0	-5.0	-19.2

- (注) 1. 前回(13.3)DIは、13年3月調査時点での「13年度の売上高が12年度に対して改善(悪化)するのかについての“見通し”の見方」
2. 前年(12.9)DIは、12年9月調査時点での「12年度下半期の売上高が12年度上半期に対して改善(悪化)するのかについての“見通し”の見方」

(3) 雇用状況(人手不足感DI = -0.3)

人手不足感は、前年調査からDI値がプラスへ移行していたが、今回調査で再びマイナスとなった。

業種別にみると、JR、民鉄旅客、造船で人手過剰と感じている事業者が多い。(DI = -50.0、-25.9、-23.1)。一方、ハイヤー・タクシー業においては84.8%、登録ホテルでは45.8%の事業者が人手不足と感じている(DI = 75.8、37.5)。

人手不足感

部門・業種		不足	過剰	DI	前回調査との差	前回(13.3)DI	前年(12.9)DI
全 体		24.3	24.6	-0.3	-5.2	4.9	4.7
	貨物部門	13.4	27.5	-14.1	-11.7	-2.4	-4.8
	旅客部門	38.0	21.5	16.5	-1.0	17.4	15.4
	その他	3.8	26.9	-23.1	-9.0	-14.1	-1.7
貨物	外航海運(20)	15.0	35.0	-20.0	-10.5	-9.5	-3.7
	内航海運(22)	13.6	31.8	-18.2	-10.8	-7.4	0.0
	フェリー(18)	5.6	16.7	-11.1	-2.4	-8.7	-22.7
	倉庫(31)	19.4	22.6	-3.2	-6.0	2.8	0.0
	港湾運送(26)	3.8	19.2	-15.4	-8.2	-7.1	-13.8
	トラック(32)	18.8	37.5	-18.8	-28.1	9.4	2.5
旅客	旅客船(19)	21.1	15.8	5.3	-9.7	15.0	10.0
	JR(6)	0.0	50.0	-50.0	21.4	-71.4	-42.9
	民鉄旅客(27)	18.5	44.4	-25.9	2.6	-28.6	-27.6
	乗合バス(34)	29.4	23.5	5.9	1.0	4.9	-7.1
	ハイヤー・タクシー(33)	84.8	9.1	75.8	1.5	74.3	63.9
	航空運送業(15)	13.3	20.0	-6.7	-6.7	0.0	14.3
	登録ホテル(24)	45.8	8.3	37.5	8.5	29.0	19.4
	旅行業(2)	0.0	0.0	0.0	-25.9	25.9	50.0
その他	造船(26)	3.8	26.9	-23.1	6.6	-29.6	-19.2
	自動車整備(2)	50.0	50.0	0.0	-7.7	7.7	16.7

- (注) 1. 前回(13.3)DIは、13年3月調査時点の「人手不足感」
 2. 前年(12.9)DIは、12年9月調査時点の「人手不足感」